

としよ館たより

2017. 7. 18 益田翔陽高等学校図書館

1学期の期末試験も終わりました。7月20日の終業式を前に、図書館では恒例の「読書感想文ガイダンス」が行われています。1年生から3年生までの全12クラス毎に国語の1時間を当てて、各学年にふさわしい感想文が書けるように熱く語っています。

普段はほとんど読書をしない生徒も、この夏休みの課題「読書感想文」を書くことで、読書習慣が身につけば、将来に向けての大きな糧になるものと思います。

読書感想文提出日

3年生 8月17日(木) 体育祭分団作業開始日
1, 2年生 8月29日(火) 2学期始業式

図書館に入ってすぐ左の書架が「図書委員オススメ本 コーナー」です。先月までの島根県高等学校総合体育大会(略して島根県総体)期間中は、各運動部に関連した書籍が配架されていました。

現在の展示は、「Do your best ～藤井四段のお気に入りの作家たち～」です。十四歳と少しで日本将棋連盟のプロ棋士となって、29連勝の新記録を打ち立てた今話題の藤井聡太四段のコーナーです。

司馬遼太郎作品、沢木耕太郎作品、詰将棋、将棋入門など

夕方のニュースを聴いていると、デラウェアの収穫が始まったという。近頃の園芸作物はほとんどがハウスもので、露地物の収穫時期に比べるとずいぶんと早い。温度調節、水分調節、施肥管理、病虫害防除などが効率よく行えて、栽培農家にとってはハウス栽培は有り難いもの。季節感が薄れてしまうのもしかたが無いことなのかもしれない。デラウェアの紹介では、「デラウェアは、糖度が高く、種が無いのが特徴」とあった。もともと種が無いのではなく、たねなし処理をしているから種ができないのである。

キーワード 植物ホルモン、ジベレリン、種なしブドウ

種なしブドウに関連するものとして、たねなしスイカが思い出される。種なしブドウと同じやり方で作るのかと思うとまったく違う。生物は染色体を親から受け継ぐ。通常は父方からと母方から受け継ぐので、2組の染色体をもつ。2組の染色体をもつ個体を二倍体と呼ぶ。自然界では、まれに三倍体の植物がみられる。秋の彼岸の頃に花咲くヒガンバナは三倍体の植物である。三倍体の植物では、種子ができないので、繁殖は球根で行われる。バナナの栽培種も三倍体で種はできない。繁殖は挿し木で行われる。

たねなしスイカのつくりかたは、二倍体スイカ×四倍体→三倍体スイカ

キーワード コルヒチン、染色体の倍加、人工授粉